

(2) 令和5年度月別の気象概況

4月	<p>上旬：高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、中頃は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があった。期間の中頃までは、暖かい空気に覆われることが多く、気温のかなり高い日があった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、中頃は低気圧や上空の寒気の影響で大雨や雨となり、雷や雹を伴った日もあった。期間のはじめと終わりには暖かい空気に覆われ、気温のかなり高い日があった。</p> <p>下旬：高気圧と低気圧や、前線が交互に通過したため、天気は数日の周期で変化した。</p>
5月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響で大雨の日もあった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く雷を伴う日もあった。期間の後半は暖かい空気が流れ込んで気温がかなり高くなる日があった。</p> <p>下旬：中頃は高気圧に覆われて晴れや曇りとなったが、期間のはじめと終わりは前線や湿った空気の影響で雨の日が多くなった。</p>
6月	<p>上旬：前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多く、特に1日～3日は前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大雨となった。関東甲信地方は6月8日ごろ梅雨入りしたと見られる（速報値）。</p> <p>中旬：前半は前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多くなったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
7月	<p>上旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨、雷を伴う日もあった。期間の終わりは、暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日があった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。</p> <p>下旬：期間の初めに湿った空気の影響で曇りの日があったが、その後は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れの日が続いた。気温のかなり高い日が多く、特に7月24日からは日最高気温が35℃以上の猛暑日が続いた。関東甲信地方は7月22日ごろ梅雨明けしたとみられる（速報値）。</p>
8月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間のはじめと終わりには上空の寒気や湿った空気の影響で雷雨や雨の日があった。</p> <p>中旬：期間の中頃に南からの湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く大雨となった日もあったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れて気温のかなり高い日が多くなった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃までは南からの湿った空気の影響で雨の降る日があり、雷を伴う日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。</p>

9月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。8日は台風第13号が日本の南海上を北上した影響で大雨となった。期間の前半は暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が多くなった。</p> <p>中旬：前線や湿った空気の影響で期間の中～終わり頃に雨や雷雨の日があったが、全般に高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。期間を通じて暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が続いた。</p> <p>下旬：高気圧と前線が交互に通過し、数日の周期で変化した。22日は、湿った空気や上空の寒気の影響で大雨となった。期間の後半は暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が多くなった。</p>
10月	<p>上旬：低気圧や前線、寒気を伴う気圧の谷の影響で雨や雷雨の日があったが、西高東低の気圧配置や高気圧に覆われて概ね晴れた。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃は低気圧や湿った空気の影響で雨や大雨の日もあった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や上空の寒気の影響で雨の日があり、雷を伴い大雨の日もあった。</p>
11月	<p>上旬：中頃までは高気圧に覆われて晴れの日が続いたが、その後は前線と高気圧が交互に通じ数日の周期で変化した。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、中頃までは低気圧や気圧の谷の影響で雨や曇りの日もあった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷の影響で雨の日もあった。</p>
12月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、中頃は低気圧の影響で雨の日があった。2日に初霜を観測した（平年より21日早い、昨年より2日早い）。</p> <p>中旬：期間の前半は高気圧と低気圧や前線が交互に通過し数日の周期で変化した。期間の後半は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりには低気圧の影響で雨の日があった。22日に初氷を観測した（平年より2日早い、昨年より3日遅い）。</p>
1月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の初めは気圧の谷の影響で曇りや雨の日があった。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の初めと終わりは低気圧や前線の影響で雪や雨の日があり、雷を伴う日もあった。東京では13日に初雪を観測した（平年より10日遅く、昨冬より11日早い）。</p> <p>下旬：期間の初めは前線を伴った低気圧の影響で雨の日があったが、その後は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p>
2月	<p>上旬：期間の中頃までは気圧の谷や低気圧の影響で雪や雨の日が多くなり雷を伴う日もあったが、その後は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が続いた。5～6日にかけて前線を伴った低気圧の影響で東京では雪となり、日最深積雪8cmを観測した。</p> <p>中旬：期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりは前線や湿った空気の影響で雨の日があった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。15日には関東地方で「春一番」が吹いた。</p> <p>下旬：期間の前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、みぞれの降る日もあった。期間の後半は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧の接近に伴い雨の降る日もあった。</p>

3月	<p>上旬：この期間の天気は、高気圧と低気圧や前線が交互に通過し数日の周期で変化した。8日は関東の南岸を通過した低気圧の影響で東京は雪となり、日最深積雪1cmを観測した。</p> <p>中旬：この期間の天気は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の初めと終わりには低気圧や寒気の影響で雨の日があり大雨や雷雨となった。</p> <p>下旬：この期間の天気は、高気圧と低気圧が交互に通過したため数日の周期で変化したが、期間の中頃は本州の南岸に前線が停滞したため曇りや雨の日が多く、大雨となる日もあった。期間の終わりは暖かい空気に覆われたため気温がかなり高くなり、東京では31日に3月の日最高気温として最も高い28.1℃を観測した。</p> <p>なお、29日には東京でさくらの開花を観測した。</p>
----	--